

通信・IT ネットワークの分野では、日々新しい技術が開発され、より効率的で、より安価なサービスが次々と生み出されています。知らないことは、イコール企業利益の損失です。そこで私たち大和電設工業は、情報通信やITソリューションの『知って得する最新情報』を、お世話になっている皆様に定期的にお伝えしていきます。隔月発行のDDK通信、ぜひお楽しみください。

今年こそ LED 照明で電気料金節約を！

LED 照明は、長時間交換不要で電気代も節約できるという考えからコスト削減のために導入を検討される機会が多くなりました。しかし、LED 照明自体が非常に高額で、しかも既存の蛍光灯にそのまま取付できず、蛍光灯器具を改造しないと使う事ができませんでした。その為、初期費用がかかるのでなかなか LED に切り替える決断ができなかったのではないのでしょうか。

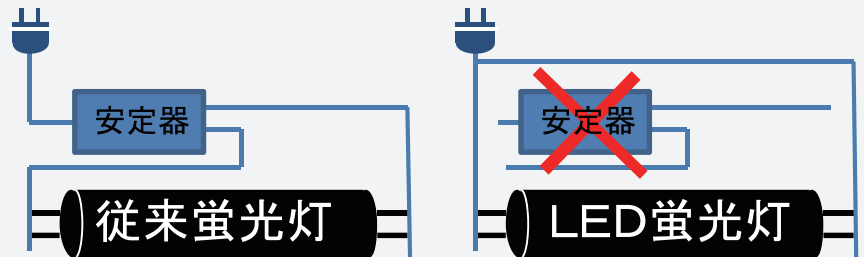
弊社でも、まだ、従来の蛍光灯を使っています。ただ、最近ではLED照明に切り替えるためのハードルが非常に低くなってきています。今回は、最近注目されている「LED 蛍光灯」について少し紹介させていただきます。

■ 工事が要らない蛍光灯

今までなら、LED 蛍光灯に取り換える際は蛍光灯の器具を改造して器具内に収められている安定器を取り外して電気線をつなぎ変える工事が必要でした。

最近では、従来の蛍光灯器具にそのまま取付けられる LED 蛍光灯が開発され商品化されました。

これによりどなたでも簡単に LED 化できる様になりました。



従来の蛍光灯には安定器、グロー球など点灯させるための仕組みが必要でした。LEDではこれらの仕組みが必要ないので、従来の器具にはそのまま取り付ける事ができません。

■ LED 蛍光灯も色が選べます

蛍光灯には、「昼光色（ちゅうこうしょく）」と「昼白色（ちゅうはくしょく）」と「電球色（でんきゅうしょく）」の3種類の色があり、昼光色がもっとも太陽光に近い色となります。LED 蛍光灯にも従来蛍光灯と同じ色がありますので使用場所に合わせて選べます。

さらに、LED 蛍光灯には自然光に近い色が出せる商品もあり「平均演色評価数（Ra）」という単位で表現されていて、Ra 値が 100 に近いほど自然光に近く Ra90 以上の蛍光灯は「演色 AAA」と記載されている場合もあります。



■ LED 蛍光灯の照射角に注意

従来の蛍光灯は周囲 360 度全体が明るくなりましたが、LED 蛍光灯の場合、45 度程度しか明るくならないのが一般的です。その為 LED 蛍光灯の真下は明るい、その周囲は暗いという現象が起こっていました。

LED 蛍光灯を選ぶ場合、この配光角（または照射角）が重要になってきます。最近、商品も改良されて 180 度以上の周りが明るいタイプの商品が多く出ています。

